

Department of Education alumni association

あすなろ

2021 No.43



発行
弘前大学教育学部同窓会
相馬正栄

所在地 青森県弘前市文京町1
TEL 0172(39)3314 (学部)



対面の教育的意義を大事に歩む

教育学部長 福島 裕敏

同窓会の皆様におかれましては、平素より教育学部の教育研究活動に対して、多大なるご理解・ご協力を賜り、ありがとうございます。

新型コロナウイルス感染症拡大から間もなく2年が経とうとしています。未だ、その終息の見通しを得がたい状況にあります。現在のところ、大きな混乱もなく、令和3年度の教育研究活動を進めてきております。

学部・教職大学院については、6～8月にかけて実施された大学におけるワクチンの一括接種が実施されたこともあり、後期については、年明けから共通テストまでの期間を除いて対面授業を実施してきております。附属学校園での実習については、予定通り実施することができました。また9月に予定されていた公立学校等での教育実習は、青森県新型コロナウイルス感染症緊急対策パッケージにより中止・延期を余儀なくされましたが、市町村教育委員会や学校

をはじめとする関係機関のご理解ご協力のおかげで、所定の時間数を確保することができました。

附属学校園では、例年通りとはいかないまでも、実施方法を工夫しながら、運動会、学習発表会、修学旅行等の行事を実施してきております。また昨年度中止となつた公開研究会は、弘前大学教育学部附属四校園第一回合同公開研究会として、オンラインで開催し、海外・県外からの参加を含むのべ六〇〇名の参加を得て、充実した討議がおこなわれました。

ところで、令和3年12月に出された国立大学法人評価委員会「令和2年度に係る業務の実績に関する評価の結果」の冒頭において、「学長のリーダーシップの下、…〈略〉：青森県のインクルーシブ教育システムの構築に貢献するとともに、教育委員会・学校との連携体制が強化されるなど、「法人の基本的な目標」に沿って計画的に取り組んでいることが認められる」と、教育学部の取り組みが高

く評価されました。

次年度から第4期中期目標・中期計画期間に入りますが、様々な制約に直面しながらも、対面の人と人とのかわりながらも、対面の教育的意義を大事にしながら、学部・教職大学院・附属学校園が一体となつて、青森県ひいては日本の教育の発展のために尽力していく所存



「歴史」となる『奈良通信』

三三三号を目指して

同窓会副会長 奈良 年 永

平成十二年三月に定年退職してから、退職後の生き方を模索しつつおよそ一年、偶然にも次のような文に出会い魂を覚醒させられたのです。【人は退職後の生き方こそ、その人の真価だといつてよい。退職後は、在職中の三倍ないし五倍の緊張感をもつて晩年の人生と取り組まねばならぬ】(森信三語録、心魂にひびく言葉、致知出版社) 森信三先生ほど定年退職後の生き方について力説された人は少ないのではあるまいか。定年とは公生涯の「死」を意味する。それゆえ定年をもつて、死亡の予行演習と心得て、その準備を為すべきなり、少なくとも十年ほど前から…とも言うております。正に凄絶そのものの生き方を唱えておられます。

さらに、森信三先生は、教育とは流水に文字を書くような果敢のない業であるから、それを巖壁に刻むような真剣さでもって取り組まねばならない。そしてまた、教育

です。ので、引き続き、ご理解ご支援のほどをお願い申し上げます。

末尾ながら、8月4日に永眠された木村清之助氏(元同窓会会長・顧問)に対して、本会を通じた長きにわたる学部へのご厚情に深く感謝いたしますと同時に、ご冥福をお祈り申し上げます。

とは心の扉を開くことであり、魂の開発でもある。心耳への種まきであるとも述べておられます。

私の専門とする受容と共感を基盤とする生徒指導・教育相談の原理にもまさに合致することなどの経緯から、大いに触発され、人を慰められたり、喜ばせたりでき、縁を深めたり、更に自分の考えなり、言葉を磨くことができることから、一人通信を制作することを決意し、平成十四年四月によろしく、私家版教育情報誌月一回発行の『奈良通信』の創刊に漕ぎ着けた次第であります。

困惑する教育論を理解するための、先知先哲の遺訓からその思いや願いを紹介することにより、そこから今日的な指針を認識できることを願って編集してきたつもりであります。もとより、安岡正篤師・松下幸之助翁をはじめとする聖賢に学ぶということは、結局はそれらの人々の精神を、たとえ極微の一端なりとも我が身に体して

日々の実践に生かすことであります。然しながら、もとより浅学非才の身でありますので、十分な資料や情報を蒐集提供できない状況に忸怩たる思いを持ちながらも、今年二月をもつて二七八号に到達し、会員六四名に発信しているところ

です。

継続は無限であります。休みなく百号を刊行して頂上に辿り着いたと思つたら、まだまだ果てしない道が続いているのです。気を取り直して、次の頂上の二百号を目指してやってきたわけです。ものごとや組織は、十年(百号)継続すると偉大なり、二十年(二百号)で畏るべし、三十年(三百号)継続すると歴史と言われます。それに比較するべきもありませんが、自己の教育的信念は『奈良通信』にあることを再確認しつつ、急がず、休まず、焦らずに三百号(令和五(二千二二)年十二月号)まで重んじていきたいものであると



弘前公園 西の郭「根上り銀杏」



光を使って物を調べる

理科教育講座 准教授 島田 透

身の回りの物が示す色の多くは、さまざまな色を含んだ光から、特定の色の光がその物に吸収されることによって生じています。例えば、葉が示す緑色は、太陽光から緑色以外の光が、葉の光合成色素によって吸収されるために生じています。どの色の光がどのくらい吸収されるかは、物によって異なります。したがって、どの色がどのくらい吸収されるかを詳しく調べると、物を構成する原子や分子の種類・形

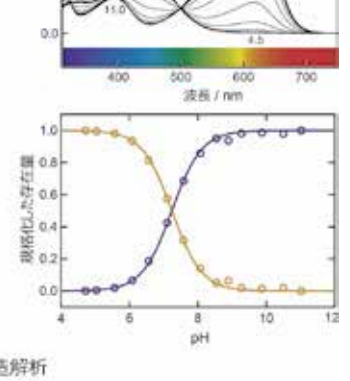
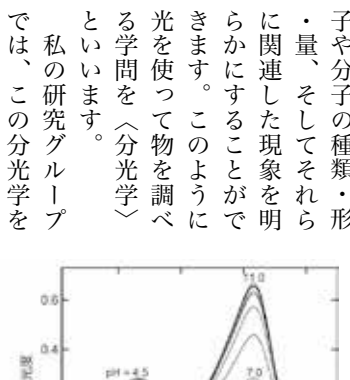
量、そしてそれらに関連した現象を明らかにすることができま。このように光を使って物を調べる学問を「分光学」といいます。私の研究グループでは、この分光学を柱として研究を行っています。具体的には、髪の毛の太さの千分の一程度の小さな物で起こる特異な現象の解明や、リンゴやカシスといった地域の特産物に含まれる有効成分の定量などです。また、分光学が対象とする光や色は、子どもたち

にも視覚的に分かりやすくインパクトがあることから、教育分野における光や色の活用を目指した研究にも取り組んでいます。例えば、レゴブロックを用いた分光器の作製や指示薬の構造解析などです。ここでは、指示薬の構造解析に関する研究成果を簡単に紹介し、指示薬というものは、溶液のpHによって色が変化する試薬のことです。小・中学校の実験でも指示薬は使われ、代表的なものとして

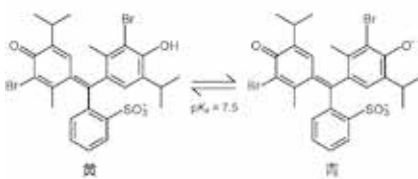
B T B 溶液があります。B T B 溶液は酸性で黄色、中性で緑色、アルカリ性で青色を示します。溶液の色の変化は、液性によってB T B の分子構造が変化することに由来しています。このことに疑問の余地はありませんでした。しかし、それぞれの色が、どのような分子構造に由来するのかについては、手近にある文献の説明では納得できませんでした。そこで、過去の文献を調べたところ、少なくとも四つの説を見つけたことができてきました。このため、分光手法を用いてこの解明に取り組み、色と分子構造との関係を明らかにすることに成功しました。この成果は、中学校の教師用指導書に取り上げられただけでなく、アメリカの代表的な分析化学の教科書の改訂にも影響を与えました。小・中学校の実験でも使われる

B T B 溶液の変色のしくみに、最近まで未解決な問題が残されていたことは大変な驚きでした。溶液の液性と指示薬の色との関係の暗記に留まらず、なぜpHに応じて色が変わるのかを考え、答えを見つけていくことが化学の面白さの一つだと感じています。これまであたりまえだと思つて見過ごしていたことにも未解決な問題が残されており、新たな発見のチャンスがまだまだ潜んでいるのかもしれない。

その後の8年間は大学院地域社会研究科長として、教育学部に関わる校務から離れる形でご迷惑をおかけしましたが、本当に恵まれた一日だったと思います。様々な自治体の委託研究や委員会を歴代の学部長からも自由にさせていただいたおかげで、気がつくとき、青森県、十和田市、八戸市そして弘前市の美術館をつくることに関係させていただきました。学生たちも様々な場面でお世話になりました。最先端の場面に何人も活かせることが出来ました。



BTB分子の構造解析



黄

青

平成6年に弘前大学に赴任して、気がついたら27年でした。ほぼ一日になります。工学部建築学科から移動してきた当初、とにかく動き続けました。教育学部で自分の専門が活かせるのだろうか、などと疑う時間もなく、活かさなければならぬという気持ちで先走りして、今考えると、背伸びをしていたような気がします。

弘前大学の「まち育て」はエンドレス！ 家政教育講座 教授 北原啓司



「まち育て」はエンドレス！

家政教育講座 教授 北原啓司

それでも、「まち育て」という言葉を思いついた時、弘前大学教育学部にいる私がやるべき仕事の目標が見えた気がしました。折しも、生涯学習課程の創設で、まちづくりに関心のある学生たちが、



まちづくりワークショップでの研究室学生 (2014年 北海道芽室町)

ありがたいことに毎年7、8名、私の研究室に入ってくれました。そんな学生たちと家庭教育を指す学生、そして博士課程と修士課程の学生たち。本当に恵まれた月日だったと思います。私の研究室に入るといういろいろな場所に行けるという噂が学生たちの間で話されているとも聞きました。どんな学生が欲しいかと面接で聞かれ、①どこでも眠れる人、②胃腸の強い人、③前のめりに倒れる人と冗談で答えていました(生まれつき胃腸が悪いので無理ですと言った女子学生が思い出されます)。

都市計画が本来の専門である私

を好きだけやり続けてこられたね」と言ってもらっています。「まちづくり」ではなく「まち育て」に自分の照準を合わせる事ができたのは、本当に弘前大学のおかげであり、皆さまのおかげだと思っっています。これからも「まち育て」を続けていくつもりです。いろいろな場面でお目にかかることがあるかも知れませんが、これからもどうぞよろしくお願ひ申し上げます。一万日の間、本当にありがとうございました。



青森市立佃中学校 教諭 秋谷 怜
(中学校コース理科専修 令和3年卒業)

教育実習では決して味わえない重責と喜び

両親ともに教師の家庭に生まれた私も、ついに2021年、両親に続き「先生」の仲間入りを果たすことになった。卒業式を終え、勤務校の内示を頂いた当時の私は、教員生活に胸を弾ませていた。

四月一日、残雪の残る青森市立佃中学校に赴任した私は、それはもうひどく緊張していた。校長室に通され、異動されてきた先生方と待機したのだが、知り合いなどいるはずのない私を尻目に、先生方は話を弾ませていたのを覚えてる。そのとき、もう私は手取り足取り指導いただける学生ではなく、「先生」になったのだなと強く実感した。

まず洗礼を受けたのは、職員会議だった。右も左もわからない私にとって、会議で飛び交う業務内容の全てが呪文のように感じられ



「弘前れんが倉庫美術館」



た。ろくにメモも取らずに聞いていたから、いざ会議での内容を実施するときになって、「○○先生、どうやるんでしたっけ？」と聞く始末で、大変情けなかった。次に苦労したのが期日を守ることだ。何を当たり前のことをと思われるかもしれないが、学生の頃とは比べものにならない量の業務が波のように押し寄せて、これまた各分掌の先生方に大変迷惑をかけてしまった。

最後は、学級経営である。これは言わずもなだが、初めて出会った生徒を三十数名あずかる重責

は、前述のどれよりも私の肩に重くのしかかった。

こうやって振り返ってみると、大変なことばかりで、辟易されたかもしれないが、それでも何故こうして最初に苦勞を書き連ねたかというところ、それらは全て「やりがい」と表裏一体であるからだ。たとえば職員会議では、細かく各分掌からの内容をおさえておくことで、活動時のイメージをしやすくなり、当日の指示も明確にでき、生徒を活動により専念させられるようになった。期日についても、紆余曲折有りながら忘れず実施する習慣を身につけ、分掌の先生方に迷惑をかけないのは勿論のこと、ある先生からは、「早くて助かる」と声をかけていただけのまじになった。学級経営では、先輩の先生方から沢山助言を頂きながら、良いと感じたことを次々取り入れた。その甲斐あつてか、教科担任の先生方から、「クラスの雰囲気がいいよね」と言っていた。けるようになった。

自己の成長ばかりが自分のやりがいであるかのように書いてしまつたが、結局の所は、子どもたちの笑顔に勝るやりがいは無い。生徒の屈託のない笑みと「ありがとう」のその一言で、疲れが魔法のように消える。生徒の笑顔に勝るやりがいは無いからこそ、その笑顔に恥じぬ「先生」になりたいと思ひ、様々な取り組みに励むことができる。そんなわけで、今日も私は生徒の笑顔に囲まれて元気に「先生」をやっております。

コロナ禍での同窓会の活動

今年度も中止「学部」との懇談会

教育学部との懇談会は今年度も中止になりましたが、教育学部の現況について福島学部長から資料をいただきましたので一部をご紹介します。

- ◇入学者は百六十七人(定員一六〇人)で、県内91人、北海道16人、青森県以外の東北地方42人、関東11人、その他7人でした。
- ◇令和三年度から入試改革として前期入試に面接試験を導入し、教職への強い意欲とコミュニケーション能力のある学生を選抜しました。
- ◇教職支援室による教職キャリアサポート体制の充実を図り、令和二年度の利用者は三千二百十九名でした。教員は五人体制でがんば

っており、年九回の採用試験対策講座を開講しました。

- ◇卒業生について就職率は98%、そのうち58%が教職希望者でそのうち42%が正規採用者です。教職就職者(臨採含む)の三割が県内。大学院へは12名が進学。
- ◇教職大学院はかなり充実され、令和三年度は20名が入学しました。認証評価機関による認証評価を五年以内ごとに受けることが義務づけられており、令和三年三月に教職大学院評価基準に適合していると認定されました。
- ◇その他、附属学校園や新型コロナウイルス対策等についての資料もありました。

既卒者対象の教員採用試験対策講座への支援(左案内)

**■既卒者■のための
教員採用試験対策講座
のご案内**

既卒者を対象として、主に2次試験対策を実施します。積極的にご参加ください!
お申し込み、お待ちしております!

日程: 2022年8月1日(月)~8月5日(金)
(既卒者のための教員採用試験対策週間です)

①11:05~11:50	②13:25~14:10
③14:20~15:50	④16:00~17:30

対象者: 弘前大学卒業生・修了生

内容: 主に2次試験対策

①小論文の添削	②自己PR	③個人面接・集団面接
④集団討論	⑤模擬授業	⑥場面指導

場所: 弘前大学教育学部2階 教職支援室
担当: 教職キャリア支援コーディネーター

山田 真寿美先生 (ky-sien5@hirosaki-u.ac.jp)
高西 裕幸先生 (hi-kasai@hirosaki-u.ac.jp)
工藤 美代子先生 (miyo-kudoh345@hirosaki-u.ac.jp)
佐藤 忠浩先生 (sato-chu3387@hirosaki-u.ac.jp)

申込: 弘前大学教育学部教職支援室 0172-39-3423
または、上記の各先生方のメールアドレスまで

- ・小論文添削希望者は、事前にメールに添付の形で返信ください。
- ・身近な講師にもお伝えください。
- ・様々なご要望に適宜対応いたします。

注目: 上記期間以外でも指導いたします。ご連絡ください。

主催: 弘前大学教育学部教職支援室・就職支援委員会
後援: 弘前大学教育学部同窓会

令和2年度決算

Table with 4 columns: Item, FY2020 Budget, FY2020 Actual, Remarks. Rows include Income (会費, 繰越金, etc.) and Expenses (総会費, 評議員会費, etc.).

Table with 4 columns: Item, FY2020 Budget, FY2020 Actual, Remarks. Rows include Expenses (総会費, 評議員会費, etc.) and Income (収入, 支出, etc.).

Summary table with 3 columns: Income, Expense, Balance. Balance: 1,093,172円.

残額1,093,172円は次年度へ繰り越します。

令和3年度予算

Table with 4 columns: Item, FY2021 Budget, FY2021 Actual, Remarks. Rows include Income (会費, 繰越金, etc.) and Expenses (総会費, 評議員会費, etc.).

Table with 4 columns: Item, FY2021 Budget, FY2021 Actual, Remarks. Rows include Expenses (総会費, 評議員会費, etc.) and Income (収入, 支出, etc.).

Summary table with 3 columns: Income, Expense, Balance. Balance: 2,213,372円.

令和三年度 弘前大学教育学部同窓会 定時総会報告. 今年度の総会は昨年度と同じように新型コロナウイルス感染症の状況が改善されませんでしたので中止となりました。総会で決定される令和二年度の庶務報告や決算報告、令和三年度の事業計画、予算案、そして昨年度は全員留任の役員については改選を行い、すべて複数回の郵送により決定されました。特に会計監査については二名の監事がそれぞれの自宅において事務局から郵送された諸帳簿、通帳等について監査を実施していただきました。

令和3年度事業計画

- 1, 3年 3月中旬 同窓会入会依頼文書・振替用紙送付(学部から入学者全員に発送)。
2, 3年 3月31日 弘前大学同窓会報を各支部に発送。顧問、役員は4月上旬発送。
3, 3年 4月上旬 令和3年度会計監査会、評議員会・事務局合同会議(中止を決定)。
4, 3年 4月中旬 役員改選に関する意志確認。
5, 3年 4月下旬 各支部の会員情報、役員、活動費の送金についての案内、報告。
6, 3年 5月上旬 監事に会計監査を依頼(会計簿、決算書、通帳、証書、監査報告等郵送)。
7, 3年 5月上旬 評議員・事務局合同会議による総会議案書検討(郵送による)。
8, 3年 5月下旬 役員、各支部へ令和3年度の総会議案書を送付し審議を依頼。
9, 3年 6月5日 令和3年度教育学部同窓会総会(中止)。
10, 3年 6月上旬 教育学部長へ学部支援金を贈呈(会長・事務局)。
11, 3年 9月上旬 教育学部との懇談会案内送付(中止の予定)。
12, 3年 10月下旬 教育学部懇談会開催予定(中止の予定)。
13, 3年 10月下旬 3年次学生の3者面談に会長出席予定(中止の予定)。
14, 3年 11月下旬 会報あすなろ43号の原稿依頼、12月中旬に回収、整理。
15, 3年 12月下旬 新入会員へお礼状(年賀状)郵送。
16, 4年 1月下旬 会報あすなろ43号の印刷依頼、2月中旬完成。
17, 4年 2月下旬 サンキュウ企画より各支部へ同窓会報を郵送。
18, 4年 3月上旬 やまと印刷より弘前大学同窓会報を各支部へ郵送。
19, 4年 3月下旬 弘前大学学位記授与式(会長出席予定)、教育学部卒業祝賀会(会長、事務局出席予定)。

令和2年度庶務報告

- 1, 2年 3月中旬 同窓会入会依頼文書・振替用紙送付(学部から入学者全員に発送)。
2, 2年 3月下旬 令和2年度会計監査会、評議員会・事務局合同会議の中止を決定。
3, 2年 3月下旬 弘前大学教育学部入学式の中止が決定。
4, 2年 4月17日 監事へ会計簿、通帳、領収書等を送付し監査を依頼。
5, 2年 4月30日 令和2年度総会、懇親会の中止を決定し、役員、各支部へ議案書を送付し承認を依頼。
6, 2年 5月13日 議案書の採択を議決した議案書を役員、顧問、各支部へ送付。
7, 2年 5月22日 教育学部長へ支援金を贈呈(会長・事務局出席)。
8, 2年 6月3日 支部活動費を各支部長へ振込等送金。
9, 2年 8月19日 新和印刷へ封筒(長形3号)作成依頼。
10, 2年 9月2日 学部へ封筒(長形3号)持参、疫病速報7マビエネキタを寄贈、学部支援金へ展示。
11, 2年 9月23日 教育学部との懇談会が中止になり顧問、役員、各支部へ通知。
12, 2年 9月下旬 3年次学生保護者懇談会が中止、学部から同窓会入会案内を入会案内を郵送。
13, 2年 11月上旬 櫻橋志志朗部長、堀名敦子教授、会報あすなろ42号の原稿依頼、12月中旬に回収、整理。
14, 2年 11月6日 学部から「AI 顔認証サーモグラフィカメラ」設置の依頼を受け、了承発注。
15, 2年 11月17日 教育学部との懇談会資料を顧問、役員、各支部へ送付(懇談会は中止)。
16, 2年 11月26日 弘前大学学位記授与式(教育学部副会長の署名付書を作成、「AI 顔認証サーモグラフィカメラ」を設置。
17, 2年 12月25日 84名の新入会者へお礼状(年賀状)を郵送。
18, 3年 1月上旬 会報あすなろ42号の作成をサンキュウ企画(新和印刷元事務通達氏代表)に依頼。
19, 3年 1月10日 新和印刷へ封筒(長形3号)作成依頼。21日学部へ持参(新入生への入会案内送付用)。
20, 3年 2月10日 新和印刷より各支部へ同窓会報を郵送。原稿執筆者(お礼の風呂敷も)、顧問、役員に会報を送付。
21, 3年 3月11日 総会開催についてアンケート調査を実施。
22, 3年 3月23日 弘前大学学位記授与式は開催(会長欠席)、教育学部卒業祝賀会中止。
23, 3年 3月31日 やまと印刷より弘前大学同窓会報を各支部へ郵送(コロナ禍により1ヶ月印刷がおくれたため)。
※4月に入ってから、顧問、役員に弘前大学同窓会報を送付。

令和2年度特別基金報告

Table with 3 columns: Category, Aomori Bank, Michi no Bank. Rows include Income (前年度からの繰り越し, 利) and Expenses (一般会計へ繰り入れ), and Balance.

残金は各銀行へ再度定期として預金する。

Table listing members and their branches. Columns include Position (支部長, 副支部長, etc.), Name, and Branch (弘前支部, 黒石支部, etc.).

令和3年度役員

お知らせ. 新型コロナウイルス禍で国民が長期間、大変な生活を強いられ、お疲れまじい。同窓会も対面での会合や懇親会等も自粛を強いられ、お疲れまじい。このように時に状況にありますが、これまで同様、同窓会創設から開かれ、会長や顧問を長年勤められた木村清之助先生が八月四日にご逝去されました。木村先生は附属中学校や市内の各中学校で英語教員として多くのご生徒と関わり、また教育行政機関にも勤務され、多くのお一人、長年副会長を勤め、十七日にご逝去されました。佐々木先生は八戸・三戸支部の役員、弘前大学卒業生八戸支部の役員、県の退職校長会副会長等を勤められ、お力が必要であり、頼りにして、お二人のご冥福をお祈りいたします。

同窓会の情報や会報のバックナンバーは、弘前大学同窓会HP→教育学部同窓会HPから。 https://www.hirosaki-u.ac.jp/information/alumni.html

